

杉並区立西田小学校 令和4年度第3回 学校運営協議会記録

- ・日時 令和4年6月27日（月） 午後4時から午後5時15分
- ・場所 図書室
- ・出席者 諏訪会長
 - 【委員】鈴木校長、恵羅、渡邊、半澤、目黒、中澤、望月、檜枝（記録）
 - 【事務局】神近
 - 【教育委員会】佐藤正明、峰岸しおり
- ・資料 資料1 令和4年度第3回学校運営協議会次第
 - 資料2 教育講演会「未来の学校と教師の専門性開発」
 - 資料3 教員の長時間労働とその影響
 - 資料4 第3回ユネスコスクール関東ブロック大会
 - 資料5 令和4年度「NISHITA 未来の学校」実施計画案
 - 資料6 令和4年度「1学期の子どもとおとなの話し合いの時間」（仮）

5・6年生担任との懇談

- ・5・6年生担任と懇談した。
- ・懇談後、本年度の未来の学校に関する説明があった。総合の学習の発表になるので地域の人に伝える場をしたい。地域の人などに、子どもたちの話を聞いて「子どもとおとなの話し合いの時間」に参加して意見交換をして欲しい。また、6年生は大塚食品、サミット、西田小の3者でお弁当の商品企画が進んでおるのでそれを紹介する予定である。

1 会長挨拶

- ・教育講演会「未来の学校と教師の専門性開発」の紹介（資料2）。
- ・資料3を用いて教師の専門性開発が困難になっている状況の説明。学校教育が直面する課題は「教員の長時間労働」。国際比較すると、仕事時間の合計、課外活動、事務業務等で最長、専門性開発で最短となっている。1966年から2006年にかけて、残業時間が月約8時間から月約34時間に増加。これらの影響で、教員志望者が減少し倍率が低下し教員の質の保証が危ぶまれる。教員の労働時間の短縮は急務であり、また教員数増のための予算措置も求められている。

2 校長挨拶

- ・中澤委員が出席できるようになって良かった。
- ・第2図書室を二つに分割する工事が始まった。
- ・7/15（金）に終業式を行う。
- ・教員が協力的で有り難い。わたしが「・・・をやりたいね」と言うと幅を広げてやってくれる。ユネスコスクール8年間の蓄積で身に付けてくれたお陰と思う。以下の具体的な成果があがっている。

*第3回ユネスコスクール関東ブロック大会(7/31、創価大学)の「実践校報告及び質疑応答」で西田小が1校のみ登壇する(資料4)。

*本年度は未来の学校が各学期1回計3回と開催数が増加し、内容も充実した。

*80周年記念の記念集会(1校時)と記念式典の準備に関して教員が揃って協力して動いている。

3 小中一貫合同CSについて

- ・檜枝委員から以下の経過説明があった。5/16に西田小、桃二小、松溪中のCS会長が懇談し、3校合同のCSが可能かどうか各CSで検討することになった。桃二小からは他校との合同CSは当面難しいとの回答があった(5/30)。6/20の松溪中CSでは西田小との合同のCSを11・12月に行う方向で検討を進めることになった。
- ・諏訪会長から以下の説明があった。公益財団法人日本極地研究振興会の「南極観測隊経験者や専門家を派遣します！」を利用した講演会なども提案したが、桃二小は否定的であった。内閣府の教育・人材育成ワーキンググループの「Society 5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」では小中9年間で、「学年・学校種を超える学びや学年を遡った学び」が提案されているので、いずれ小中一貫への対応が求められる。
- ・お互いを知ることが第一歩だが、当面、桃二小のCSを傍聴する、CSだよりなどの印刷物をとおして知るようになる。
- ・児童・生徒にとって有効なことをするべきだ。
- ・西田小と松溪中の2校で、11/28(月)西田CS、12/19(月)松溪CS、20(火)西田CSを候補日として検討をすすめる。

4 未来の学校について

- ・諏訪会長から、資料5に従って本年度の「NISHITA 未来の学校」実施計画の説明があった。各学期に1回開催する：1学期(7/9)、2学期(10/15)、3学期(2月)。
- ・諏訪会長から、資料6に従って「1学期の子どもとおとなの話し合いの時間」の説明があった。
- ・鈴木校長からCS委員に「出席して子どもたちとの話し合いに参加して欲しい」との要請があった。参加の場合は鈴木校長にメールで事前に連絡すること。

5 その他

- ・済美教育センター所長 佐藤正明様、学校支援課 峰岸様から挨拶があった。

7月学校運営協議会開催予定

7月25日(月)午後4時00分~午後5時30分

なお、同日2時30分より第12回80周年記念行事実行委員会(地域・保護者の部)開催

以上